



第6回 災害時母子救護研修

家を失った妊婦・褥婦・乳幼児は
どこで生活するか知っていますか？

災害時に環境の変化を受けやすい妊産婦や乳幼児には、適切な生活環境が確保されるように最大限の配慮が求められます。災害はいつどこで発生するかわかりません。災害時という特殊な状況下では、平時の業務の延長線上で全てが対応できるとは限りません。災害時に慌てないようにするために、未曾有の被害をもたらした東日本大震災、熊本地震など過去の災害の経験を通して母子救護に何が必要か。HUG(避難所運営ゲーム)で災害時の状況を模擬体験しながら、地域の実情に合わせた災害時の母子救護の重要性を一緒に考えていきましょう。



日時：2024年1月21日(日) 9時～13時 (予定)

会場：北海道ハイテクノロジー専門学校 第5校舎
北海道恵庭市恵み野北2-12-1

募集人数：30名程度

職種：不問 (医療知識は問われません)

参加費：無料

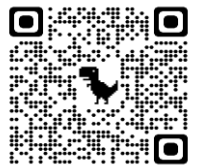
申し込み：下記フォーム、またはQRコードからお申し込み下さい

<https://forms.gle/HBAPP7U8ynNBcnaT8>

募集期間：2023年10月23日～12月23日

主催：HOPPIE (北海道周生期医療救急支援の会)

共催：一般社団法人WIND (北海道大学産婦人科)



お問い合わせ先：旭川医科大学病院 救命救急センター

助産師 片山 恵理 jimu.ekatayama@gmail.com



ホッピーくん

スケジュール

8:30～9:00	受付
9:00～9:20	北海道の災害、避難所の暮らし、ゲーム説明
9:20～10:50	避難所運営ゲーム(急性期)
11:00～11:30	解説、振り返り、意見交換
11:30～12:30	避難所運営ゲーム(亜急性期)
12:40～13:00	振り返り、閉会